

# 平成25年度病害虫発生予報第7号

平成25年10月1日  
愛知県

## 普通作物

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ダイズ	カメムシ類	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±

### ・留意事項

カメムシ類はダイズ莢の肥大期まで加害し続けるので、今後も注意が必要です。

## 果樹

### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナシ	黒星病	やや多い	全域	9月下旬の発生量はやや多い 10月の降水量は平年並	±
カキ ウンシュウミカン	カメムシ類	やや多い	全域	9月下旬のカキにおける被害果率は平年並 予察灯における誘殺数はやや多い フェロモントラップにおける誘殺数は平年並 8月下旬におけるヒノキ球果の口針鞘数から予測した離脱時期を過ぎている	± + ± +

### ・防除対策

#### [ナシ・黒星病]

落葉は伝染源となるため、適切に処分しましょう。また、10月から11月はりん片への感染が多くなるので、来年に備えオキシラン水和剤やICボルドー48Qなどで秋期防除をしましょう。

#### [カキ、ウンシュウミカン・カメムシ類]

園内をよく観察し、飛来を確認したら、9月3日発表の「果樹カメムシ情報第3号」を参考に防除しましょう。

### ・留意事項

モモせん孔細菌病の発生量が多いほ場があります。来年の伝染源を減らすため、秋期防除を徹底し、罹病枝は剪定して取り除きましょう。

## 野菜

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
トマト (施設)	葉かび病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	コナジラミ類	平年並	全域	黄色粘着トラップにおける誘殺数は平年並	±
	黄化葉巻病	やや少ない	全域	9月下旬の発生量はやや少ない 黄色粘着トラップにおけるコナジラミ類の誘殺数は平年並	－ ±
トマト (施設) ナス (施設)	ハモグリバエ類	やや少ない	全域	9月下旬のトマト(施設)での発生量はやや少ない	－
ナス (施設) キュウリ (施設)	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	全域	9月下旬のハウレンソウでの発生量は平年並	±
ハクサイ	べと病	平年並	全域	9月下旬現在発生を確認していない(平年並)	±
	コナガ	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±
	アブラムシ類	やや少ない	全域	9月下旬の発生量はやや少ない	－
キャベツ	黒腐病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の降水量は平年並	± ±
	オオタバコガ	平年並	全域	9月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘殺数は多い	－ +
	コナガ	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は平年並	± ±
ハウレンソウ	モザイク病	平年並	全域	9月下旬のアブラムシ類の発生量は平年並	±
	アブラムシ類	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	シロオビノメイガ	多い	全域	9月下旬の発生量は多い	+
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	炭疽病	平年並	全域	9月下旬の発生量はやや少ない 10月の気温は高い 10月の降水量は平年並	- + ±
	ハダニ類	多い	全域	9月下旬の発生量はやや多い 10月の気温は高い	+ +
野菜共通	ハスモンヨトウ	平年並	全域	9月下旬のキャベツにおける発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	- +

#### ・防除対策

[ホウレンソウ・シロオビノメイガ]

カスケード乳剤で防除しましょう。

[イチゴ(施設)・ハダニ類]

本日発表の「平成25年度病害虫発生予察注意報第4号」を参照してください。

#### ・留意事項

イチゴでは、炭疽病の発病株を見つけたら抜き取り、適切に処分しましょう。特に台風18号で風雨にさらされたほ場では、発生に注意しましょう。

台風18号通過後の調査では、キャベツ黒腐病の発生量は平年並です。しかし、気象予報では今後、気温が平年より高くなる予想のため、アブラナ科野菜では黒腐病や軟腐病などの細菌性病害の発生量が増えるおそれがあります。早期防除に努めましょう。

害虫については、キャベツほ場に設置したフェロモントラップにおけるオオタバコガ、シロイチモジヨトウの誘殺数が多い状況です。結球部への幼虫の食入を防ぐため、ほ場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。また、気温が高くなるとハイマダラノメイガが増えるおそれがあります。今後の気温の推移に注意して、防除を行いましょう。

### 花き

#### ・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	ミナミキイロアザミウマ	少ない	全域	9月下旬の発生量は少ない	-
	ハスモンヨトウ	平年並	全域	9月下旬のダイズやキャベツにおける発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	- +
	オオタバコガ	平年並	全域	9月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘殺数は多い	- +

## ・留意事項

オオタバコガのほ場における発生量は少ない状況ですが、フェロモントラップにおける誘殺数は多い状況です。例年、発生量は10月に最も多くなるため、天候次第では急増するおそれがあります。着蕾期以降に被害を受けると被害が大きくなるので、早めの防除を心がけましょう。

## 参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方気象台9月27日発表）

〈特に注意を要する事項〉

期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

〈予想される向こう1か月の天候〉

東海地方では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

週別の気温は、1週目は高い確率60%です。2週目は高い確率60%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

〔気温〕 低い：10% 平年並：30% 高い：60%

〔降水量〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

〔日照時間〕 少ない：30% 平年並：40% 多い：30%

### 「農薬使用者のみなさんへ」

- 飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。
- 農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。
- 農薬散布後は、防除器具のタンクやホースの洗いもれがないようにしましょう。
- 農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。
- 農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。
- 農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。